



Starting Seedling Environ Response



みんなで育てる カーボンオフセット

モンゴル、日本各地を舞台にラリーやイベントを開催してきた

私たちSSERが森を守る小さな一歩、ここからスタートします。

私たちが育てたモリンガの苗木をご自宅や仕事場などで

育てていただくことでどこでも小さなカーボンオフセット。

SSER森林組合には山もノコギリも必要ありません。

小さな声から始まった小さな小さな環境保護活動です。



SSER森林組合のしくみ



ご注文の方に苗木セットをお渡しします。取りに来ていただくか、
送料着払いでお送りいたします。



愛情こめて育ててください。
成長記録を送っていただくと
カーボンオフセットマイルが
たまります。



大きくなりすぎた木はSSERが
お引き取り。新しい苗木セットを
送付いたします。

SSER森林組合の木を手に入れるには?

A

WEB申込 (郵送)

<https://sser.jp/shinkumi/>

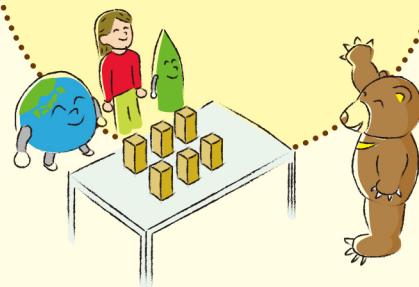
お申し込みURLからお申し込み頂き、
登録先住所へ着払いでの発送いたします。



B

SSERの イベント参加時 にお渡し

SERが開催する各種イベントにて、
希望者に無料で配布致します。



会員活動・会員特典について

SER森林組合宛に年に春と秋の2回(4月・9月)写真付きレポートをお送りください。ハッシュタグを(#SER森林組合)つけて主要SNSに投稿(twitter, Facebook, Instagram)して頂くか、メール(shinkumi@sser.jp)でお送りください。会員特典については年に1回、全体の温室効果ガスの吸収量や、栽培ヒントなどを掲載した会報を発行します。また特製植木鉢など、SER森林組合グッズの販売コーナーも今後予定しています。

SER森林組合Q&A

会費は?

基本無料となっております。受取に宅配を選択された方など、
発生する送料は着払いにて負担頂きます。

育て方の注意!

「シマトネリコ」「モリンガ」は、必ず「鉢植え」にて育てて下さい。
大きくなってきて植え替える際は、「地植え」せず、大きな
植木鉢やプランターに植え替えて下さい。

※外来種の拡散を防止するためにご協力下さい。

育てられなくなったら?

ご安心ください。大きくなって育てられなくなったら、SERが
引き取ります。送料等はご負担頂きますが、引き取らせて頂いた
木を希望する方にお渡しし、バトンをつなぎます。

「シマトネリコ」の育て方

シマトネリコは沖縄以南の植物ですので、日当たりの
良い窓際で育てて下さい。但し真夏の日差しに長時間
あたると葉が焼けてしましますので、7~9月は直射日
光があたらないようにして下さい。4~9月は鉢の土の
表面が乾燥しきる前に水やりして下さい。10~3月は
鉢の土の表面が乾燥してから水やりして下さい。

「モリンガ」の育て方

モリンガは暑い国の植物ですので、年間を通して日当
たりの良い場所で育てて下さい。乾燥に強いため、水
やりは葉がある期間は鉢の土の表面が乾いてから
たっぷり与え、冬の期間は控えて下さい。水のやりすぎ
は厳禁です。越冬には5度以上必要ですので、基本
的には屋内で冬越ししてください。

カーボンオフセットとは？

カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動において避けることができない温室効果ガスの排出について、できるだけ排出量の削減努力を行い、どうしても排出される分について、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方です。世界でこの取組が活発であり、我が国でも民間での取組が拡がりつつあります。「SSER森林組合」は、参加者自らがCO₂吸収量が多い植物を育てるこにより、温室効果ガスを削減しようという取り組みです。



<参考>環境省 カーボン・オフセット

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon_offset.html (環境省)

一本の木でどれぐらい 二酸化炭素を固定化出来るの？

CO₂の吸収量は植物の種類や大きさによっても変わってきます。36~40年生のスギ人工林1ヘクタールが1年間に吸収する二酸化炭素の量は、約8.8トンと推定されます。（林野庁）これは、樹高15mの杉が1本あたり1年間に8.8kgの二酸化炭素を吸収していることになります。1世帯から1年間に排出される二酸化炭素の量は、2017年の場合、4,480kgでした。この排出量を、40年生のスギが1年間で吸収する量に換算した場合、スギ509本分の吸収量と同じぐらいということになります。（林野庁）



SSER森林組合がお届けする 木の種類

2021年度「SSER森林組合」で配布する「シマトネリコ」「モリンガ」は、同じ大きさの杉と比べ二酸化炭素吸収量が多いと推定されています



モリンガ

成長が早く、二酸化炭素吸収量が多い。一般的に、同じ樹高の杉の20倍の吸収量があると言われています。



シマトネリコ

樹高1mの場合、5.5kgCO₂/y程度吸収すると言われています。

※独立行政法人 環境再生保全機構「大気浄化植樹マニュアル」より推定

SSER森林組合お申し込みフォーム

ふりがな

氏名

送付先住所

〒

電話番号

Mail

希望樹種

シマトネリコ モリンガ

(どちらかにチェックして下さい)

申込方法

WEB申込(ゆうパックでの着払い)

イベント時に引取

参加イベント名:

※ レポートをSNSで送付(投稿)される方はSNSアカウントをご記入下さい

※ 検索出来る様に公開設定で投稿して下さい

twitter facebook instagram

アカウントアドレス

ご誓約事項 ご確認頂きチェックをお願いします。(必須)

植物を地植えしません。

植物を他人に譲渡・転売しません。

6ヶ月に1回、報告(写真、樹高値)をレポートします。

広報・活動に関するご希望 ご了承頂ける方は下記にチェックをお願いします(任意)

活動報告等に、顔写真や名前を紹介しても良い。。

申込者の県別グラフに参加する。

お申し込みFAX:089-960-6906